２０２４年度　入社式　社長訓示

【東北電力ＮＷ　坂本社長】

１．はじめに

２．東北電力ネットワークの使命

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

４．むすび

１．はじめに

新入社員の皆さん，あらためまして東北電力株式会社，東北電力ネットワーク株式会社への入社，まことにおめでとうございます。心より歓迎いたします。

今こうして，皆さんの真剣なまなざしや表情を拝見していると，新たな夢と希望，決意とやる気にみなぎるエネルギーがひしひしと伝わってきます。

どうか今の気持ち，初心を忘れずに，各職場で１日も早く，仕事に必要な知識と技術を学び，実践を積み重ね，会社に，そして社会に貢献していただきたいと思います。

入社式に当たり，私からは，東北電力ネットワークの使命と，皆さんにお伝えしたいことについてお話しいたします。

２．東北電力ネットワークの使命

東北電力と東北電力ネットワークは，元々は一つの会社でしたが，電力システム改革の一環として，２０２０年４月に東北電力から送配電部門が分社して発足し，今年度で５年目を迎えました。

当社は，「地域社会との共栄」という東北電力グループの経営理念のもと，電気を作る「発電」と，電気をお使いになる「お客さま」をネットワーク設備とサービスで繋ぎ，東北６県と新潟県で事業を展開しています。

私たちの最大の使命は「電力の安定供給」であり，昭和２６年の東北電力創業以来，時代や環境が変化しても揺らぐことなく引き継がれてきた，私たちのDNAとなっています。

１３年前の東日本大震災では，地震や津波により電力設備は甚大な被害を受け，お客さまの７割が停電するなど，東北電力にとって創業以来最大の危機ともいえる状況でした。

そうした中，皆さんの先輩は，「一刻も早くお客さまに電気をお届けする」という熱い思いを胸に，全社員が一丸となって驚くべきスピードで停電を解消し，社会インフラを担う公益事業としての使命と役割を果たしました。

直近では，元日に発生した「能登半島地震」においても，新潟県内の停電の迅速な復旧はもとより，被害が甚大であった北陸地域にも約 1 か月間，延べ千名の応援派遣を行い，過酷な環境下において復旧活動の一翼を担いました。

このように，東北電力と東北電力ネットワークは，強い使命感のもと両社一体となって，頻発化・激甚化・広域化する自然災害に対し，その都度，停電の早期復旧に向け全力を尽くしてきました。

今日から，皆さんとこの使命を共有し，一緒に仕事ができることを，大変嬉しく，そして頼もしく感じております。

次に，皆さんが会社人生をスタートするにあたり，三つのことをお伝えしたいと思います。

一点目は，「何事にも果敢にチャレンジしてほしい」ということです。

電力業界やネットワーク会社を巡る環境は，制度面や技術面においても，また社会からの受け止めの面においても大きく変化しており，今後さらに加速化するものと思われます。

変化に対応できなければ，あっという間に後方に位置することになりかねません。

皆さんには，仕事の経験はないかもしれませんが，「これから自分で道を切り開く」というやる気と若さ，自由な発想，旺盛なエネルギーが溢れています。それは皆さんの特権です。

ぜひその気概を持って，色々なことに果敢にチャレンジしていただきたいと思います。

チャレンジは，必ずや皆さんの成長や自己実現，やりがいに繋がり，東北電力グループの成長と発展の強力な推進力となるのです。

二点目は，「チームワークとコミュニケーション」についてです。

会社における最大の財産は「人・人財」であり，「人財」と「チームワーク」はその礎です。

「電力の安定供給」をはじめ会社の中の仕事は，ひとりだけで成し遂げられるものではありません。

人は物事に対する考え方や得手不得手も異なります。だからこそ，お互いが知恵を出し合い議論を重ね，何が最適なのかを追求し，組織の力に結集する必要があります。

これこそが「チームワーク」であり，チームワークを最大限発揮するために，上司や先輩，工事会社の皆さまなど，一緒に仕事をする方々と，自分から積極的にコミュニケーションを図っていただきたいと思います。

三点目は,「コンプライアンスと安全最優先の徹底」についてです。

皆さんはこれまで，あまりコンプライアンスや安全について意識したり考えたりするということはなかったかもしれません。

しかし，社会のインフラを担う公益的な事業者にとって最も大切なことは，コンプライアンスを遵守し，安全・安心な事業運営を通じて，お客さまや地域社会の皆様から信頼をいただくことです。

東北電力グループでは,コンプライアンスや安全の確保・労働災害の防止に向けて,「気づく・話す・直す」を合言葉に種々の取り組みを実践しています。

「気づく・話す・直す」の実践により，コンプライアンスと安全最優先を徹底し，信頼される会社を目指してまいりましょう。

４.むすび

最後になりますが，今，皆さんが思い描いている会社人生を充実させるためにも，東北電力グループ

として果たすべき電力の安定供給という「使命」，困難な課題に対しても「常に挑戦する気概」，そして，大好きな東北・新潟地域の暮らしを支えているという「誇り」を胸に，共に未来を切り拓いてまいりましょう。

以　上